

大久保地区・地域だより

# No.99 さわやかおおくほ

写真  
募集してはます  
よろしく!

2022年9月30日発行 編集・発行 大久保地域センター管理運営委員会広報部 ☎03-3209-3961



新大久保商店街振興組合の人達の手によって、  
新しく生まれ変わった「天使のすむまち」  
新大久保駅ガード下の壁画



新大久保駅

# 桜美林大学・新宿キャンパス

桜美林大学の「ビジネス マネジメント学群」が大久保に校舎を構えてから3年、授業の一環も含めて地域社会との交流を深めている、という情報を得て取材させていただきました。



取材にご協力頂いた方々

## 地域の子ども達との交流

近くの中学校の総合学習の時間に学生達がSDGsの出張授業を行ったり、社会科見学として小学生を学校に招いたりしてきました。また、新宿のサッカークラブチームとタイアップして、子ども達にサッカーを教えることも計画しているということです。

コロナが収束したら、子ども達と一緒にスポ GOMI（街をきれいにする社会活動とスポーツを融合させたゲーム）をしたい、と目を輝かせた学生の言葉には私達も大いに興味を惹かれました。



さまざまなコラボの中には、  
もしかして飲食店との驚く  
ような新メニューも？

## 商店街と新商品開発のコラボも

地域のアクティビティには積極的に参加したい、という学校側の考えもあり、学生が大久保のお祭りや鉄砲隊の隊列に参加したり、町会や商店街のクリーン活動に従事している姿も目にしました。

大久保通りの商店街についてもさまざまな調査を行っており、商店街とのコラボで新商品開発を進めているとも聞きました。どこかの店舗でコラボされた美味しい、新しい料理など食べられる日が来るでしょうか。



クリーン活動  
百桜祭実行委員会（桜美林  
大学新宿キャンパス大学祭）  
メンバーが参加しました



## 大学と大久保という街と

取材の最後に、大久保の街について伺いました。

「海外から見て新宿は魅力的なエリア、ただ大久保はまた違った面白さがあると言われており、これは当校の留学生も言っている。大学全体の方針として世界から人が集まるキャンパスにしたい。

そしてここで交流し、繋がりが生まれ育っていく場所にしたいと思っている。我々もお邪魔しながら、サポートしながら地域に根付いていきたいと願っている。」

コロナが収束したらもっと広く、もっと深く地域とのつながりができることでしょう。



# 地域と大学

私達の街大久保が活性化され、誰にでも安全で住みやすい街になるためには、団体としての町会・自治会・商店街の活動が欠かせません。もちろん住民一人ひとりの意識も大切だと思います。そんな時、私達は地域の大学・学生と地域との深い交流がボランティアとして、又イベントの参加にと深く関わっていることを知りました。

大学における彼らの地道な活動や、かたや学外に於いての地域に対する熱い思いは、今や地域の活性にとって大きな力となっています。今回の「さわやかおおくぼ」は、私達の住む大久保地域に学舎を構え、活動している2つの大学に焦点を当ててみました。

## 桜美林大学 “夏祭り”

野菜マルシェ  
サクベジプロジェクトを立ち上げた学生達が、屋上で作った無農薬野菜を夏祭りの校舎前で売っていました



屋上菜園



ビジネス演習（会社経営）  
新大久保商店街連携プロジェクト  
街の美化に協力的な店を調査しました

## “きりん公園水まつり”



毎年夏、子ども達を集めて「きりん公園水まつり」を開催  
早稲田大学の学生さん達も一緒に参加して遊んでくれます（ここ3年コロナ禍のため中止）

菜園で採れた野菜

## コロナ禍での大学の困惑

コロナ禍の中での3年間、学生達の学園活動や地域活動は大きく制限されてきました。4年間の大学生活での3年の空白期間は、先輩から後輩へと受け継がれていく様々な活動の継承の中で、学生達にとって決して小さくはなかった筈です。

そんな状況でも、地域との関りを持つべく、迷いの中で活動している大学・学生の努力を、取材を通して強く感じることができました。



# 早稲田大学・西早稲田キャンパス

## 興味深く、珍しいサークル名 [理工展連絡会]

理工展連絡会は早稲田理工の学園祭『理工展』を運営するサークルです。

理工学部では沢山の研究室があり、それぞれの展示企画を発表する際に研究室同士の連絡を取り合う役目を担っていたのが、理工展連絡会の発足のきっかけです。

研究室同士の連絡を取り合い、研究室の発表会を目的としていたようです。その流れで、徐々に模擬店を出展してみたりお祭りの要素を取り入れていったようです。

今回は第69回理工展であり、長い歴史があるサークルです。

## 多くの人に知ってもらいたい

私達、理工展連絡会が目指す活動の第一は「理工展」なのですが、その過程に「地球感謝祭」という企画があります。

地域のお祭りで理工展連絡会として実験企画や夏休みの子ども向けの実験教室にも出展しています。他区からの実験企画を依頼されることもあります。

当然、理工展を広報していくという役目もありますので、理工展の知名度を上げる活動として、学内向けの広報活動、広域にも目を向け学園祭コラボ、SNSでの発信等も、これから増やしていこうと思っています。

## 地域の人達と共に

大人数のサークルなので、理工展に向けて各部署の目指すゴールへの思いも様々だと思えます。それらの思いをまとめつつ、サークル内の親睦を深めていきたい。

また、大学周辺の飲食店と協力して「飲食店コラボ」、「地域系コラボ」というのをやっています。

「飲食店コラボ」は地域の飲食店の協力により、コラボメニューを作ったりクーポン企画をしていただいたりという内容です。

「地域コラボ」に関しては、小学校のイベントとかのお手伝いに行ったり、地域のお掃除活動に参加したりします。今後も地域の人達との交流をより大切にしていきたいと思っています。



取材にご協力頂いた方々

子どものキラキラした目が忘れられません



何年前になるでしょうか、子どもが小学生だった頃理工展の実験教室に参加して、いろいろな実験や推理ゲームで親子共々ワクワクドキドキしたことを思い出しました。



拾ってきたゴミをちゃんと分別しています

すみずみまで丁寧に拾います



## サッカー選手と

# ボディケアプログラム

6月20日 桜美林大学にて



単身高齢者が多いことは、新宿区の問題の一つです。そのことに着目した一人の学生の企画により、授業の一環として今回のイベントが始まりました。前々から大学と交流のあったクリアソン新宿とタイアップして高齢者の心も体も元気になるイベントをしたい、と。

第1回は中央公園で、第2回は大学内で、早稲田大学の「健康福祉マネジメント松原由美研究室」とコラボが、立ち上がり、高齢者の運動の前と後に歩行能力とアンケートを丁寧に実施しました。研究の成果を、今後の高齢者の心と体の健康に、又学生達の研習に役立てて下さることでしょう。



現役サッカー選手と一緒に体を元気にする！

## サッカーボーリングに参加して

真新しい桜美林大学新宿キャンパスに初めて入り、明るく広々したエントランスにワクワクしながら案内され、何をやるのかもよくわからず参加しました。エレベーターで3階へ。まずは、早稲田大学の研究資料に協力。アンケート（体調など）を記入したら、次は教室の床に直線が書いてあり、そこを歩いたら歩数と時間を測定されました。

それから隣の講義室へ。そこでは、サッカー選手が出迎えてくれました。新宿にも『クリアソン新宿』というサッカーチームがあることを初めて知りビックリ!!

選手の方の指導のもと、始めはストレッチ。体が温まったところでサッカーボーリング開始。3チームに分かれ、自己紹介、チーム名を決定。いよいよ試合開始です！円陣を組んで「〇〇オー！」サッカーボールを蹴り、先にある10本のピン（塩ビ管で作ってあるので重い!）を倒します。これがなかなか難しい。倒れても倒れなくても蹴り終わったらチームで肘タッチ。私のチームは優勝できませんでした。

取材に行ったつもりが参加することになり、気持ちは5、60年前の学生時代に戻り最高に楽しい時間でした。



「チームさわやか」が優勝しました

ストレッチ 呼吸を止めないで行いましょう



1 アキレス腱を伸ばす



2 つま先をさわる



3 上体を左右にねじる



4 膝を曲げ股を開く



5 腿を内回り外回り



# こんにちは どうぞよろしく



大久保特別出張所長

石塚 俊一

4月1日付で大久保特別出張所長に着任いたしました石塚と申します。

3月末まで地域振興部地域コミュニティ課長の職で、各地域での様々な団体等の活動支援を行う特別出張所を後方でサポートするというポストでした。今回は地域の最前線の特別出張所長ということで、心機一転、大久保、百人町地域のために力を注いでいきたいと思ひます。ぜひよろしくお願ひ申し上げます。

簡単に自己紹介させていただきますと、生まれは新宿区の東の端、津久戸町で、津久戸小学校、牛込第三中学校出身です。入区は昭和61年で、課長職としては税務課が6年と長く、その後、地域コミュニティ課長を3年勤め、この4月1日大久保特別出張所にまいりました。

着任し、実際の会議や活動に参加させていただき中、これまで長年にわたり地域の皆様が様々な分野で熱意をもって貢献されてきましたことに感銘し、深い敬意の念を抱いております。

今後皆様の豊富なご経験や知見をぜひご教示いただきつつ、わたくしも地域の様々な課題にしっかりと汗をかいていきたいと存じます。ぜひよろしくお願ひ申し上げます。

また、3年目となるコロナ禍ですが、新規感染者数も以前として高止まりの状況が続いております。みなさまにおかれましてはくれぐれも健康にご留意いただきますようお願い申し上げます、甚だ簡単ではございますが、わたくしからの着任挨拶とさせていただきます。

## 行事予定

※行事は変更になることがあります。

- ※人形劇とライブパフォーマンス 令和4年11月19日(土)
- ※手づくり味噌教室 令和4年11月29日(火)
- ※日本の音曲あれこれ 令和5年1月15日(日)
- ※フラワーアレンジメント教室 令和5年2月2日(木)
- ※親子パン教室 令和5年2月26日(日)

## 編集後記

まだまだ油断はできませんが、まちに賑わいが戻ってきています。センター行事も行われる予定です。是非ご参加下さい！  
次回「さわやかおおくぼ」は100号です。お楽しみに！

問い合わせ TEL 03(3209)3961  
大久保地域センター FAX 03(3209)3962

## イベントニュース

怪談話 [朗読会] 9月10日(土曜日)多目的ホール

3年ぶりに怖い話を楽しめました！

日本文化を楽しむ人気行事『怪談話』が、多目的ホールで人数制限と感染防止対策を行なって開催できました。3年待ってくださった固定ファンの方々はじめ、皆さん怖がっていただき、ありがとうございました。



出演：あるていすと  
(戸山朗読会)



演目：「おかし夕日の公園で」乙一 著  
「人でなしの恋」江戸川乱歩 著  
「くちびる」東直子 著  
「幽霊屋敷」高橋克彦 著

## 大久保地域センター事務局からのご報告

3階ロビーの装飾をリニューアルしました。

7月から中国の切り絵『剪纸(せんし)』を展示しています。中国の民間伝統工芸の美しさをご堪能ください。同時に、窓ガラスの切り絵も動物モチーフへと一新。和室前の飾り棚には、貸出用花器の紹介に合わせて羊毛フェルトの動物たちをディスプレイしました。



中国の切り絵「剪纸(せんし)」



和室前の飾り棚  
貸出用花器と  
羊毛フェルトの動物たち



中庭の窓硝子の飾り  
切り絵「動物と華」